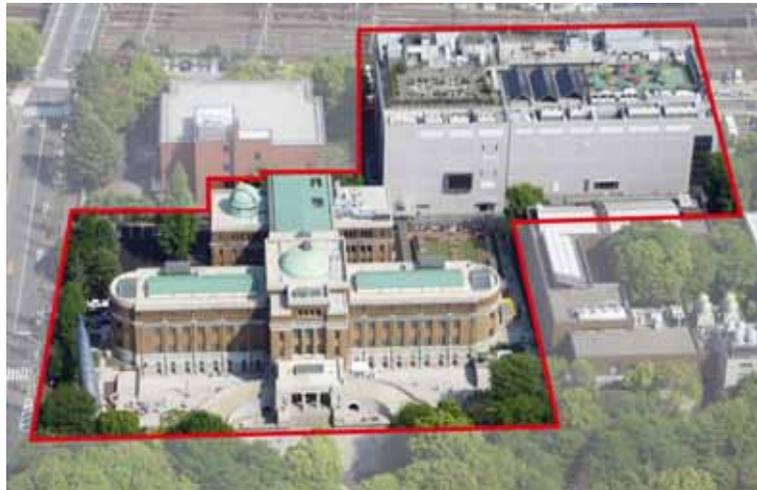


補足説明資料  
国立科学博物館

平成25年10月30日  
文部科学省生涯学習政策局

## 【概要】

国立科学博物館は、我が国唯一の総合的な科学博物館であり、自然史、科学技術史に関し、中核的な研究機関及び主導的な博物館としての役割を担っている。



本館(台東区上野)



筑波地区(つくば市)

- ・筑波研究施設(動物・植物・地学・人類・理工学各研究部等)
- ・筑波実験植物園

## 【沿革】

- 明治10年 創立(教育博物館)
- 昭和 6年 上野新館(現日本館)竣工
- 昭和24年 文部省設置法により「国立科学博物館」を設置
- 昭和37年 附属自然教育園を設置
- 昭和47年 新宿地区に分館庁舎竣工。研究部門を移転
- 昭和51年 筑波地区に筑波実験植物園を設置
- 平成13年 独立行政法人化
- 平成23年 筑波地区に自然史標本棟、総合研究棟竣工。  
新宿地区から研究部門を移転し筑波研究施設を設置



附属自然教育園(港区)

## 【ミッション】

自然史科学等の中核的研究機関として、また国内の主導的な博物館として、自然科学と社会教育の振興を通じ、人々が、地球や生命、科学技術に対する認識を深め、人類と自然、科学技術の望ましい関係について考察することに貢献する(第3期中期目標)。



調査研究

標本資料の  
収集・保管



有機的に連携した  
一体的な展開

展示・学習支援活動



# 調査研究

## ○基盤研究

標本資料に基づく実証的・継続的な基盤研究を推進

## ○総合研究

分野横断的なテーマについて期間を定めて行う総合研究を推進

- ・「日本海周辺域の地球表層と生物相構造の解析」(平成23～27年度)
- ・「生物の相互関係が創る生物多様性の解明」(平成23～27年度)
- ・「近代日本黎明期の科学技術の発展史の研究」(平成23～27年度)
- ・「皇居の生物相調査」(平成21～25年度)
- ・「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究」(平成25～29年度)

## ○後継者養成等の取組

- ・ 東京大学大学院, 茨城大学大学院, 東京農工大学大学院, 九州大学大学院と連携大学院の協定を締結し, 大学院生を指導
- ・ 特別研究員, 外国人研究員等の受入
- ・ 全国の科学系博物館の中堅学芸員対象の研修の実施

## ○国際的な共同研究・交流

- ・ 地球規模生物多様性情報機構(GBIF)における日本ノードとして, 各地の標本情報を集約, ネットワーク化を推進。
- ・ 国際深海掘削計画で採取された微化石標本を保管し, 研究者の利用に供するため, アジアを代表するセンターとして, 微古生物リファレンスセンター(MRC)を設置・運営(Full MRC:世界5か所の一つ)。
- ・ 平成21年12月に「ICOM-ASPAC日本会議2009」を開催。アジア太平洋地域を中心に20か国, 1地域から博物館関係者が参加。(ICOM:国際博物館会議。)



古代人のDNA抽出作業



皇居吹上御苑での生物調査

## 研究組織(平成25年4月1日現在)

動物研究部	17(17)
植物研究部	16(16)
地学研究部	13(13)
人類研究部	5(5)
理工学研究部	9(9)
筑波実験植物園	0(7)
附属自然教育園	0(3)
標本資料センター	1(7)
分子生物多様性研究資料センター	0(6)
昭和記念筑波研究資料館	0(3)
産業技術史資料情報センター	0(1)

※ 数字は専任の研究員数:計61人  
括弧内は兼任を含めた数

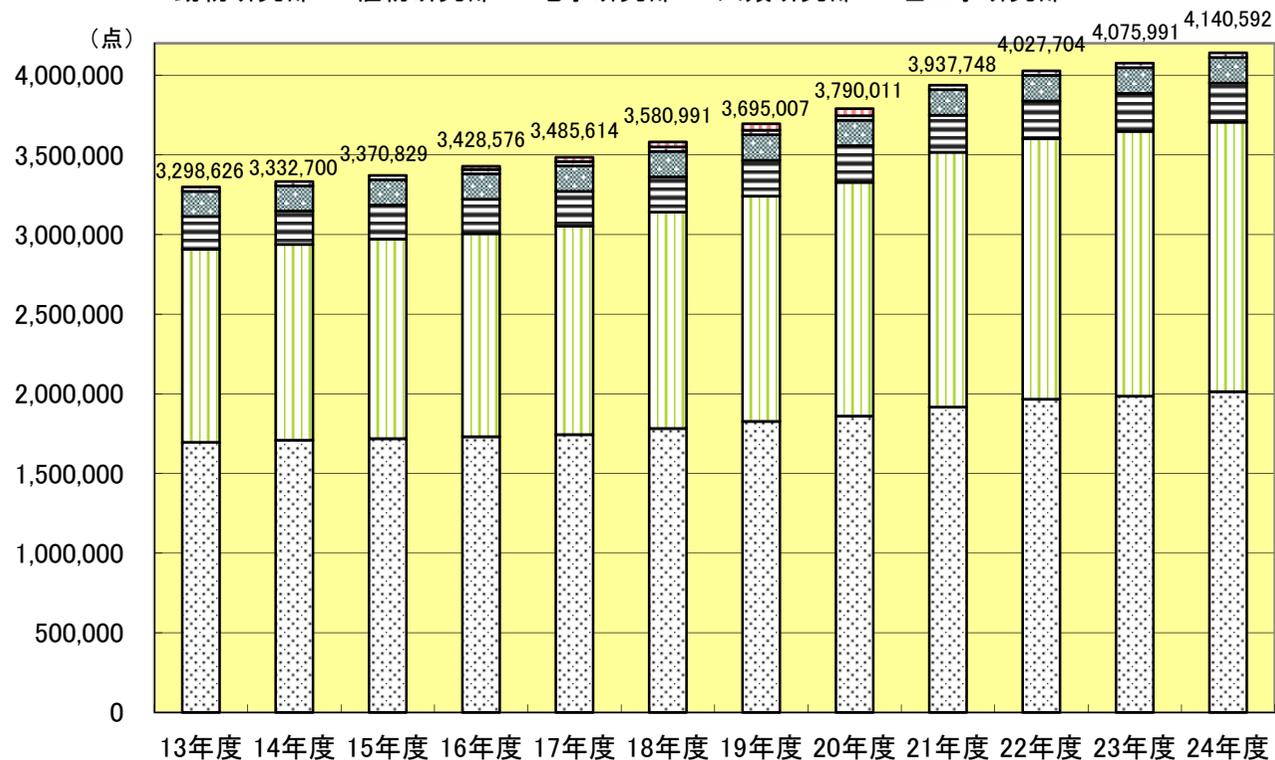
# 標本資料の収集・保管

○登録標本資料数 4,140,592点(平成25年3月末現在)



標本資料数の推移

□動物研究部 □植物研究部 ■地学研究部 ■人類研究部 □理工学研究部



第2期中期目標【5年間(平成18年～22年度)で20万点の標本資料数増加】に対し約54万点増加を達成

主要国の科学博物館の収蔵資料点数

スミソニアン国立自然史博物館(約1億2600万点), パリ国立自然史博物館(約6500万点), 大英自然史博物館(約7000万点)

# 展示・学習支援

## ○常設展示



恐竜(ティラノサウルス, アパトサウルス)



系統広場



筑波実験植物園  
(生命を支える多様性区)



自然教育園  
(水生植物園)

## ○学習支援活動

### 独自性のある世代別事業の展開

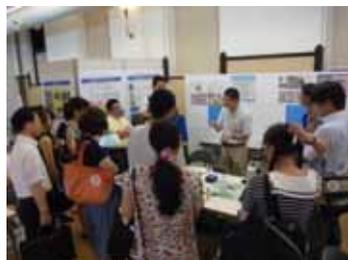
- ・幼児・児童・親子 「かはくたんけん教室」「夏休みサイエンススクエア」
- ・高校生 「高校生のための研究体験講座」
- ・大学生 「大学生のための自然史講座」
- ・一般成人 「ディスカバリートーク」など

### 学校との連携を図る事業の実施

### ボランティア活動の充実 等



ディスカバリートーク



教員のための博物館の日



「ボランティア特別企画」

## ○特別展・企画展



## ○連携活動

### 地域博物館等との連携

- ・震災復興コラボ・ミュージアムなど、地域の博物館と連携して、展示や体験教室を実施。

### 企業・地域との連携



平成24年度は岩手県内7地域で実施。25年度は宮城県、福島県において実施予定。

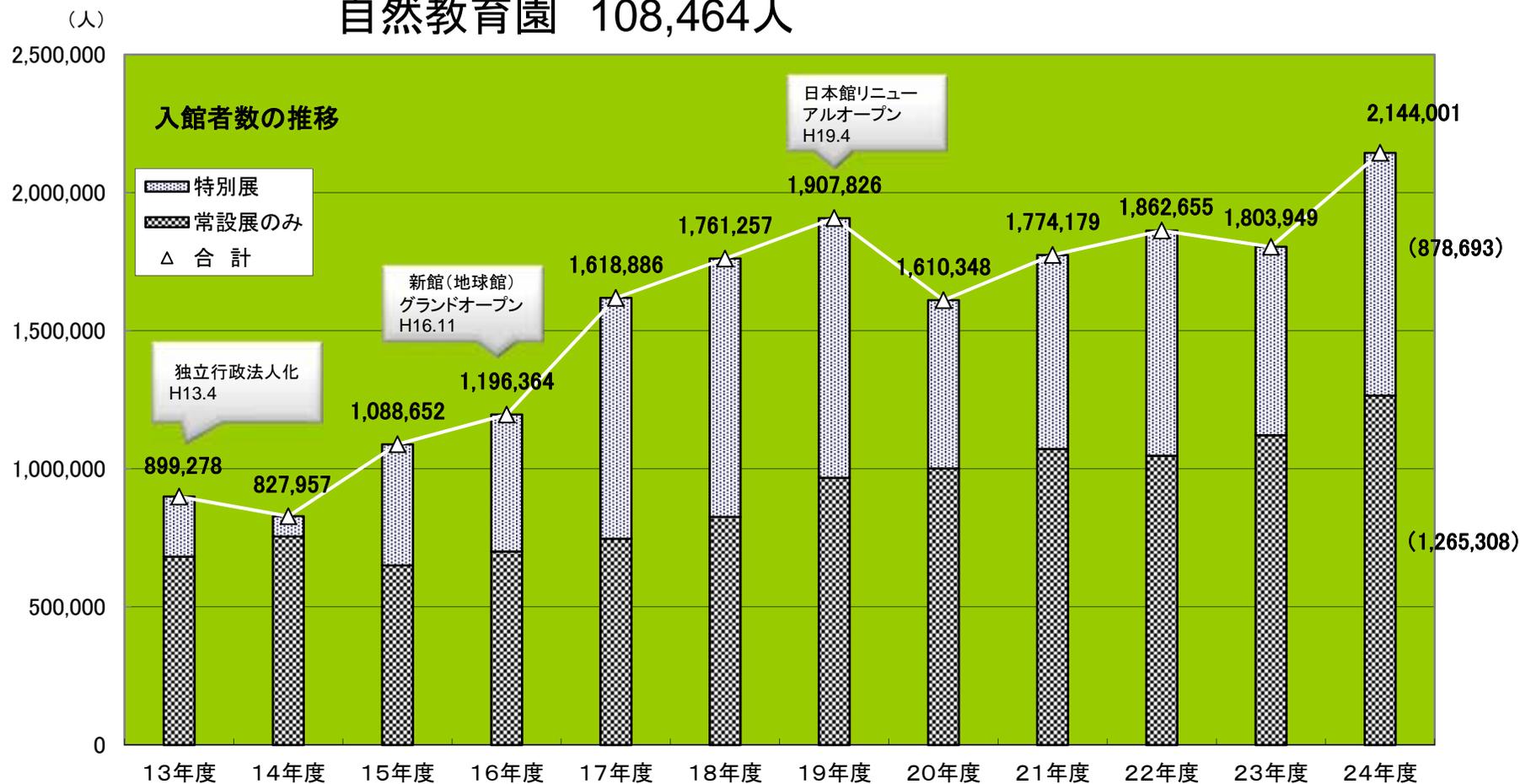
# 入館(園)者数

○平成24年度 2,144,001人

上野本館 1,945,387人

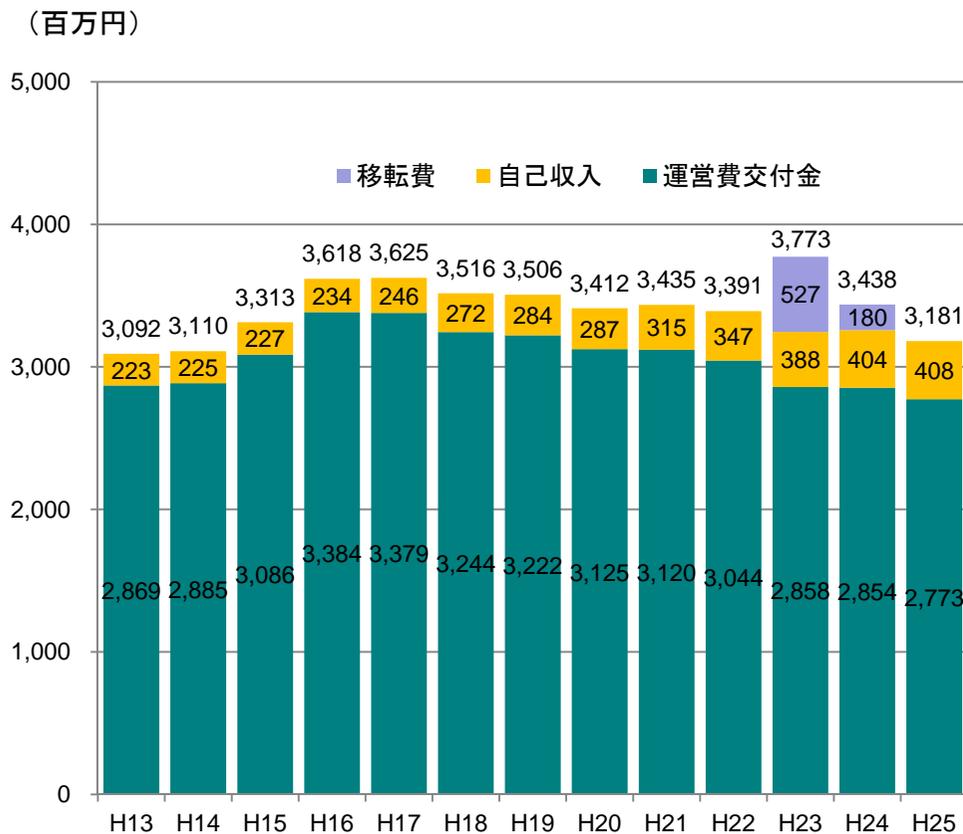
筑波実験植物園 90,150人

自然教育園 108,464人

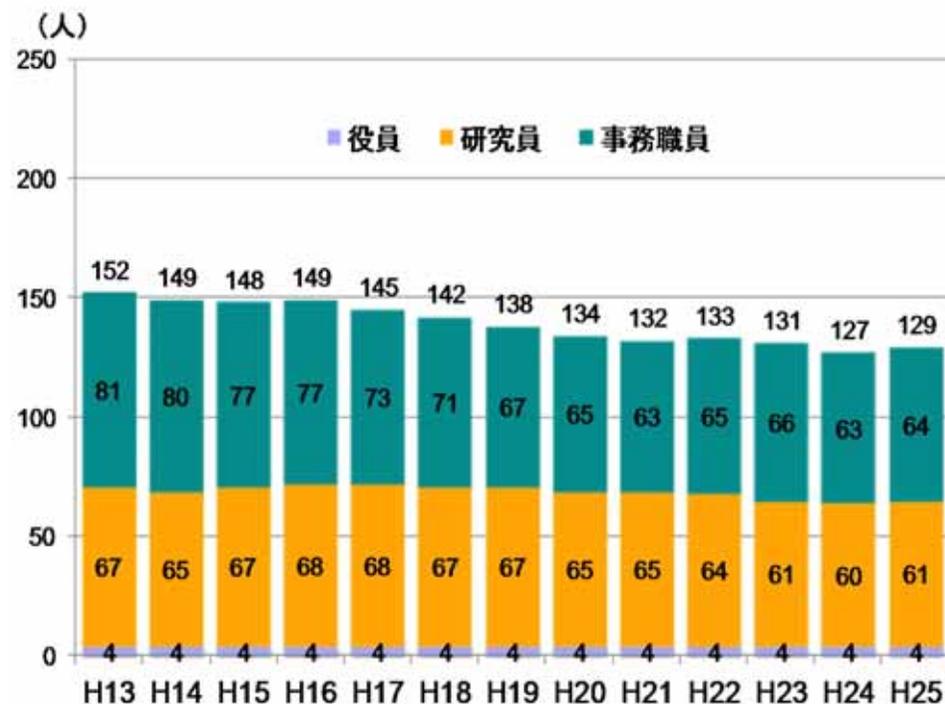


# 予算額と役職員数の推移

## 予算額



## 役職員数



平成25年度(平成13年度比) △23人

役員の4名には、非常勤の2名を含む。